

事業名	魅力あるまち“みやづ”にU I Jターン推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	21,767	3,383	7,500		7,590	3,294
総合戦略 政 策	みやづへの人の流れをつくる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				H27.3補正の繰越含む	国	地方創生推進交付金		3,383	
背 景 ・ 経 緯	少子高齢化による急激な過疎化、若者の流出などに伴う人口減少が進む中で、都会から地方への移住者が増加していることから、本市への定住につなげるU I Jターンの仕組みを構築 H23.9：みやづU I ターンサポートセンターを設置 H27.4：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置。定住促進などの共同事業を行う。			25,042	府	市町村未来づくり交付金		7,500	
					財	お試し住宅貸付料		90	
目 的 ・ 目 標	U I Jターン希望者の受入推進による定住人口の増加を図るため、「みやづU I ターンサポートセンター」等により本市の魅力と生活環境の良さを広く発信するとともに、空き家等を活用した定住支援を行う。			期 待 さ れ る 効 果	・首都圏等都市部への情報発信強化による定住世帯の確保 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空家等の掘り起こし、確保 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 みやづUIターンサポートセンターを通して定住した世帯数 :5年間で100世帯(H27:18世帯23人)				
					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
事 業 概 要	■U I ターンサポートセンターの運営 3,700千円 ・空き家等情報バンクシステムの運営 ・U I ターン希望者への情報提供・相談 ・移住・交流イベントへの出展 ・移住希望者向けP Rパンフレット等作成 ■お試し住宅の実施 800千円[新規] 本市への移住を検討される方が、地域体験や職業探しのために一時的に利用できる住宅として、空家を活用し、家財道具を設置した「お試し住宅」を運営 ・利用期間：3日以上30日以内 ・家 賃：基本料金 4,500円(4日目以降 1,500/日) ■定住支援空き家等改修補助 8,000千円 市内への定住を目的に空家等を購入又は賃貸した者に対し、空家等の改修費を支援 ・補助額：改修費の3分の2(上限1,000千円、市内全域) ■商いのまちづくり支援補助 7,000千円 空家・空き店舗を活用し新規出店する者に対し改修費及び運営費を支援 ・補助額：空き家等の店舗改修に係る経費の2分の1(上限1,000千円) 観光商業に資する事業の場合、運営費の2分の1(上限1,500千円)を上乗せ ■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 1,767千円 北部7市町が連携し、共同事業として次の事業を実施 ・大人の田舎留学事業 ・合同企業説明会 ・各種メディアを活用した情報発信 など ■総合的な空家空地対策の推進 500千円 宮津市空家空地対策計画に基づき、空家等の発生予防及び利活用の促進など、所有者等、市、地域、事業者が協力・協働・連携して空家空地対策を推進			28	年度策定	宮津市空家空地対策計画	計 画 期 間	29 ～ 33	
					年度策定				
					年度策定				
					年度策定				
【市民参加の状況】									
京都府任命の「京の田舎暮らしナビゲーター」と連携し、地域と一体となった移住者の受入・サポート体制を構築									
【先進性】									
京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会で7市町が連携し、首都圏等からの移住定住の促進に向け情報発信を強化									
担当部署				企画部 観光交流課 定住交流係			TEL	45-1607	

事業名	公共交通利用促進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備		9,254				8,000	1,254
総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					9,056	繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		8,000	
背 景 ・ 経 緯	・ H24.10：丹後2市2町共同事業として「高齢者鉄道200円レール事業」「高齢者運転免許証自主返納事業」を実施。 ・ H25.10：宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始。 ・ H27. 4：上下分離方式により、ウィラートレイنز(株)が京都丹後鉄道の運行開始。 ・ H27.10：宮津与謝エリアの上限200バス社会実験を2年間延長。									
目 的 ・ 目 標	過疎化・高齢化が進む本市地域においては、公共交通の重要性は一層高まっており、公共交通の維持のため、鉄道、バスの利用促進を図る。				期 待 さ れ る 効 果	鉄道や路線バスの利用者増 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ・ 200円バス利用者数 H31:33万人(H28:27万人) ・ 京都丹後鉄道利用者数 H31:200万人(H27:186万人)				
事 業 概 要	■宮津市公共交通総合時刻表の作成 800千円 鉄道や路線バス（200円バス）利便向上のため作成 ■高齢者運転免許証自主返納支援事業 604千円 運転免許証の自主返納者に公共交通（鉄道、丹海路線バス）の6ヶ月間無料乗車パスを発行 ■高齢者鉄道片道200円レール 7,500千円 65歳以上の市民を対象に、丹鉄線内を普通運賃片道200円で乗車できるよう支援（特急利用は除く） ■公共交通利用促進チラシ作成 200千円 バス・エコファミリーや200円レールパンフレットを作成 ■京都丹後鉄道利用促進協議会負担金 150千円 ○会 長：宮津市長(事務局：宮津市) ○事 業 費：1,050千円(沿線自治体の負担金1,000千円、府補助金50千円) ○事業内容：鉄道の利用啓発(40万人ワンモア運動)、鉄道の利便向上(JRへの要望活動)、沿線の環境美化支援など				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
					26	年度策定	北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画	計 画 期 間	27 ～ 36	
						年度策定				
						年度策定				
						年度策定				
					【市民参加の状況】					
					・ 各駅で、市民団体等が環境美化活動を実施。 ・ 岩滝口駅で吉津婦人会「ほっとさろん」、栗田駅で海洋高校「魚魚駅舎」、丹後由良駅で市と地域団体が連携し「丹後由良駅再生プロジェクト」を実施。					
					【先進性】					
					担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係				TEL

事業名	K T R支援事業 ぐるっと“海の京都”周遊トレイン導入支援事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	187,459			110,200	77,000	259
総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				185,876	市債 繰入	過疎対策事業債 過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		110,200 77,000	
背 景 ・ 経 緯	・ H26.12：北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画策定 ・ H27. 4：上下分離方式により、ウィラートレインズ(株)が京都丹後鉄道の運行を開始。 ・ H27 ～：リニューアル特急車両「丹後の海」導入（H27～H29の3年間）								
目 的 ・ 目 標	北近畿タンゴ鉄道（株）が行う鉄道施設及び車両の整備・更新等に係る費用を沿線自治体で支援し、安心・安全・快適性の確保及び持続可能な地域交通網の維持を図る。			期 待 される 効 果	地域鉄道の安定確保、集客を通じた域外観光客の誘客 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 京都丹後鉄道利用者数 H31:200万人(H27:186万人)				
事 業 概 要	■北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 77,080千円 ○総事業費：687,274千円（自治体支援100%） ○負担割合：京都府域分（92.4%）の1/2を府内関係市町で負担（うち宮津市23.62%） ■鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 71,232千円 宮津駅跨線橋の改修（事業費：70,000千円）、信号LED化、列車無線設備の更新など ○総事業費 802,950千円（国1/3、自治体1/3、事業者1/3） ○負担割合：自治体負担（1/3）のうち京都府域分の1/2を関係市町で負担（宮津市：宮豊線・宮舞線27.59%、宮福線38.53%） ■宮福線等電化高速化支援補助金 20,838千円 H8のKTR宮福線等電化高速化事業に係る整備費償還金を共同支援（償還期間 H7～H32） ○負担割合：宮津市25%、福知山市25%、京都府50% ■交通施設バリアフリー化支援補助金 9,440千円 KTR宮津駅・天橋立駅のバリアフリー化に係る整備費償還金を支援（10年間の債務負担（H24～H33）） ■北近畿タンゴ鉄道支援費基盤整備補助金 8,869千円 特急車両タンゴディスカバリー（H8.3導入）の「丹後の海」への改修（1編成2両） ＊年次計画…H27:2編成4両、H28：2編成4両、H29:1編成2両 ○総事業費：79,500千円（自治体支援100%） ○負担割合：京都府域分（1/2）を府内関係市町で負担（うち宮津市23.62%）			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				26 年度策定 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画				計 画 期 間	27 ～ 36
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
【先進性】									
担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係			TEL	45-1609				

事業名	丹後由良ターミナルセンター周辺にぎわい創出事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	16, 000		8, 000	7, 500		500
総合戦略 策 政	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				4, 000	府	駅再生プロジェクト推進事業費補助金	8, 000		
					市債	過疎対策事業債	7, 500		
背 景 経 緯	・ H27. 11：京都府駅再生プロジェクトアクションプラン策定 ・ H28. 8：丹後由良ターミナルセンター周辺再生アクションプラン策定								
目 的 目 標	地域・鉄道事業者及び行政が、ともにターミナルセンター周辺の賑わい創出に向けた取組を実施し、由良地域の活性化を図る。			期 待 さ れ る 効 果	・ ターミナルセンター周辺エリアを中心とした地域のにぎわいの創出 ・ 丹後由良ターミナルセンター利用者の増と公共交通の利用促進				
事 業 概 要	■丹後由良ターミナルセンター周辺にぎわい創出事業 16, 000千円 丹後由良ターミナルセンター周辺再生アクションプランに基づく行政の取組 ○ターミナルセンターの改修 15, 000千円 ・ 外壁改修 築25年が経過し、腐食が激しい外壁の張替や空調設備の設置等 ○ターミナルセンター利便向上のための施設備品等の購入 1, 000千円 ・ 喫茶コーナーの冷蔵庫、給湯器購入 ・ レンタサイクル用自転車の購入			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				28 年度策定	丹後由良ターミナルセンター周辺再生アクションプラン			計 画 期 間	28 ～ 29
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
	※丹後由良ターミナルセンター周辺再生アクションプラン【H28～H29】 市・地域・事業者が、ターミナルセンター周辺の賑わい創出に向け、各団体が主体的に実施する取組を定めるもの。 (平成28年度の取組状況) ○宮津市 観光サイン整備、散策マップ作成、W i F i スポット・集客カウンター設置、 レンタサイクルの実施、駅構内ギャラリー整備など ○地域・鉄道事業者 賑わい新規イベントの実施（2回）、除草ヤギの飼育、駅周辺の清掃・美化			【市民参加の状況】					
				・ H26. 3:由良を良くする地域会議と由良自治連合会により里 力再生計画「由良2023年ビジョン」を策定。 ・ H27. 3:由良地区の公募により愛称を「北前船と安寿みか んの里」駅として決定。					
				【先進性】					
担当部署		企画部 企画政策課 環境交通政策係			TEL	45-1609			

事業名	地方バス路線運行維持対策事業 スクールバス運行事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備		95,425		7,958	22,800	8,000	56,667
総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						86,662	府 市債 繰入	市町村運行確保生活路線維持補助金 過疎対策事業債 過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		7,958 22,800 8,000	
背 景 ・ 経 緯	・H25.4 由良小の栗田小への統合により専用スクールバス運行 ・H25.10 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始 ・H26.4 日置中の橋立中への統合により日置世屋線の橋立中まで延伸 ・H27.4 上宮津小の宮津小への統合により上宮津線の系統追加 ・H27.10 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を2年間延長										
目 的 ・ 目 標	・交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、路線バスの運行経費に対し支援し、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。 ・遠距離通学する児童生徒の安全確保及び公共交通網の確保、向上を図るため、6路線の一般混乗型スクールバスを運行するほか、専用スクールバスを運行する。					期 待 さ れ る 効 果	・通勤通学、買物通院等移動の利便向上 ・利用者拡大による健全な公共交通の維持 ・遠距離通学する児童生徒の安全確保 KPI:200円バス利用者数 H31:33万人(H28:27万人) KPI:公共交通空白地 H31:0集落(H28:8集落→H29:5集落)				
事 業 概 要	■幹線路線への支援 24,011千円 市町域を超える幹線路線の運行を国府・関係市町とともに支援。 ・伊根線ほか4路線(運行経費 183,496千円)					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
						27	年度策定	宮津市教育大綱		計 画 期 間	27 ～ 32
						27	年度策定	宮津市教育振興計画			28 ～ 32
							年度策定				
							年度策定				
						【市民参加の状況】					
						H29.2 地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線 (島陰新宮線、日置世屋線)の延伸を承認					
						【先進性】					
■専用スクールバスの運行 16,995千円 ・栗田小学校スクールバス(専用バス1台)対象地域：由良 ・橋立中学校スクールバス(専用バス2台)対象地域：日ヶ谷・養老・日置・世屋【新設】H29.4～					担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係 教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			TEL	45-1609 45-1641	

		H26	H27	H28
路線バス	幹線	251,460	266,354	272,395
	枝線(上宮津線)	7,301	4,937	3,049
スクールバス 一般混乗型	日置世屋線	675	1,668	3,229
	田井線・島陰新宮線	19,367	18,106	17,822
	日ヶ谷線・波見線	12,742	10,891	10,662
	上宮津線		1,697	3,757

※各年の数値は、前年10月から当年9月までの数値

■専用スクールバスの運行 16,995千円

- ・栗田小学校スクールバス(専用バス1台)対象地域:由良
- ・橋立中学校スクールバス(専用バス2台)対象地域:日ヶ谷・養老・日置・世屋【新設】H29.4～

事業名		道路新設改良事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳				
			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備			国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略		—				85, 200	44, 820		36, 300		4, 080
総合戦略 政 策		—			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
背 景 ・ 経 緯		社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検、整備している。 ・H24: 橋梁長寿命化修繕計画策定 ・H25: 道路ストック点検実施 ・H26: 宮津市通学路交通安全プログラム策定			122, 400	国	道路整備事業補助金			44, 820	
						市債	過疎対策事業債			26, 600	
						市債	辺地対策事業債			9, 700	
目 的 ・ 目 標		道路、橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境づくりに努める。			期 待 さ れ る 効 果	道路における危険を防止し、児童生徒の安全確保など道路の交通に起因する障害の防止に資する。					
事 業 概 要		■社会資本総合整備交付金事業 74, 700千円 ○妙見山線 C=12, 000千円 全体：L=400m(H28～) H29年度：L=120m（側溝） ○宮津中学校線 C= 4, 800千円 全体：L=434m(H28～) H29年度：用地測量、工事 ○浜垣中瀬線 C= 3, 000千円 全体：L=830m(H25～) H29年度：L=150m（舗装） ○中田線 C=13, 000千円 全体：L=200m(H27～) H29年度：工事（築造） ○橋梁整備事業 C=41, 900千円 （中田橋） =28, 900千円（下部工 2基）（H28～） （宮川橋） = 5, 000千円（補修設計） （橋梁定期点検） = 8, 000千円（22橋）			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
					H25 年度策定 社会資本総合整備計画			計 画 期 間	25 ～ 29		
					H24 年度策定 橋梁長寿命化修繕計画						
					H26 年度策定 宮津市通学路交通安全プログラム						
					年度策定						
		【市民参加の状況】									
		【先進性】									
		担当部署		建設部 土木管理課 土木係			TEL	45-1629			

妙見山線



小田辛皮線



妙見山線



小田辛皮線



事業名	浸水災害に対する予防と対応 (都市下水路管理事業・都市下水路整備事業)		継続	予 算 額		財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	15, 300			100	9, 700	2, 000	3, 500
総合戦略 政 策	—			(参考) 前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳				
				10, 300		府	雨水貯留施設設置事業費補助金		100	
背 景 ・ 経 緯	H23: 由良地区排水路調査 H27: 由良地区雨水排水基本計画の策定				市債	都市下水路整備事業債		9, 700		
					繰入	都市施設整備基金繰入金		2, 000		
目 的 ・ 目 標	都市下水路の整備等、安全で快適な生活環境づくりを進め、浸水被害の軽減及び予防を図る。			期 待 さ れ る 効 果	・ 浸水被害の軽減 ・ 生活排水路の整備による水洗化の普及					
事 業 概 要	■都市下水路の整備 13, 000千円 ○西堀川下水路 C=13, 000千円 L=43m 西堀川下水路（沈砂池）の床版が老朽化により破損し、車輛等の通行に支障を来していることから、抜本的な改修を行う。 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
				27 年度策定	由良地区雨水排水基本計画			計 画 期 間		
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
	【市民参加の状況】									
	【先進性】									
■由良地区内水対策(基本計画の追加・修正) 2, 000千円 平成27年度策定の由良地区雨水排水基本計画の一部追加、修正を行う。 ①水洗化の普及に資する生活排水路の検討 ②分水による浸水被害の軽減の可能性検討										
■雨水タンク設置補助事業 300千円 集中豪雨による浸水災害の予防及び雨水の有効利用を図るため、雨水タンクの設置に対して補助金を交付する。										
担当部署		建設部 土木管理課 建設総務係			TEL	45-1628				

事業名	市営住宅環境整備事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備		65, 000	18, 000		44, 500		2, 500
総合戦略 政 策	みやづへの人の流れをつくる				(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					13, 000	国 市債	地域住宅交付金 公営住宅整備事業債		18, 000 44, 500	
背 景 ・ 経 緯	H22：宮津市公営住宅等長寿命化計画策定 （東波路団地：長寿命化型改善、国名賀団地：用途廃止） H27：宮津市公共施設等総合管理計画策定									
目 的 ・ 目 標	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する公営住宅の効率的かつ計画的な改修を実施することにより、公営住宅の長寿命化を図る。 また、老朽化した公営住宅については、建物を除却し、跡地の有効活用を図る。				期 待 さ れ る 効 果	○宮津市公共施設等総合管理計画及び宮津市公営住宅等長寿命化計画の推進 ・東波路団地：長寿命化によるライフサイクルコストの縮減等 ・国名賀団地：除却による将来負担コストの削減 跡地の有効活用等				
事 業 概 要	■市営住宅東波路団地外壁断熱工事 40, 000千円 宮津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、東波路団地A棟の外壁断熱工事を実施し、耐久性・断熱性の向上を図る。 ○東波路団地A棟（平成5年度建設） ・耐火構造3階建 1棟12戸 外壁面積≒1, 150㎡ ■市営住宅国名賀団地の解体・撤去工事 25, 000千円 市営住宅及び集会所等を解体・撤去し、跡地の有効利用を図る。 ○国名賀団地（昭和40・41年度建設） ・市営住宅 簡易耐火造平屋建 4棟16戸 延べ床面積≒504㎡ ・集会所等 軽量鉄骨造及び木造平屋建									

事業名	防災拠点施設の整備（防災施設整備事業）			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	—		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備		161,478			156,400		5,078
総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					132,307	市債	防災施設整備事業債		156,400		
背 景 ・ 経 緯	・ 現宮津分署建築年度：昭和42年度 ・ 署内一部（昭和63年度建築）を増強し、現在は市施設を配置 ・ 宮津分署耐震化診断結果（平成22年度調査）⇒最小IS値0.44（基準値0.90以上） ・ 宮津分署の耐震化整備手法として、現敷地を拡張し建て替えるとともに、市の防災拠点施設を合築により設置することとした。										
目 的 目 標	宮津与謝消防組合宮津分署の建て替えに合わせて、市防災拠点施設を新たに整備し、消防組合との連携のもと、市防災体制の強化を図るもの。				期 待 さ れ る 効 果	・ 災害時の市・消防署組織体制の連携強化 ・ 大規模災害に備えた応援実動部隊との一体活動 ・ 災害時の業務継続機能の強化 ・ 備蓄物資の保管・配送拠点					
事 業 概 要	■市防災拠点施設整備[利用計画]					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	使用開始予定		宮津分署		市防災拠点施設						
	事務所棟	29年6月	○執務機能利用開始 ※消防車両等は仮駐車		○災害警戒本部（緊急時）○消防団本部詰所 ○防災監視室（消防防災課）						
	車 庫 等	30年4月	○車庫棟完備のうえ、全機能利用開始								
	■市防災拠点施設整備に係る経費[市⇒消防組合へ委託等] 136,478千円										
			全 体	消防組合宮津分署	市防災拠点施設						
	2 8 年 度	事務所棟建築工事費	158,610千円		90,710千円		67,900千円				
		工事監理等委託費	3,720千円		2,077千円		1,643千円				
		そ の 他 建 築 諸 費	6,738千円		3,729千円		3,009千円				
		小 計	169,068千円		96,516千円		72,552千円				
	2 9 年 度	車庫棟建築工事費	310,586千円		177,626千円		132,960千円				
		工事監理等委託費	7,350千円		4,104千円		3,246千円				
		そ の 他 建 築 諸 費	615千円		343千円		272千円				
		小 計	318,551千円		182,073千円		136,478千円				
	合 計		487,619千円		278,589千円		209,030千円				
	■市防災拠点施設整備に係る関連経費[市直接経費] 25,000千円										
	○既存施設機器等移設等経費 20,000千円										
○新規資機材整備費(備品購入ほか) 5,000千円											
担当部署	総務部 消防防災課 消防防災係				TEL	45-1605					

平成29年度当初予算 事業等説明資料

事業名	議会運営事業 ～議会活性化の取組～		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	—	2,469					2,469
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	・H24. 4：議会基本条例施行、議会報告会の開催、議会録画中継・一般質問新聞折込開始 ・H26. 12：一問一答制の導入 ・H27. 6：会議録検索システムの導入 ・H28 ：議会だよりリニューアル（表紙カラー、中2色刷）			2,856					
目 的 ・ 目 標	議会基本条例に基づき、市民に身近でわかりやすい、開かれた議会を目指して情報公開に取り組むとともに、市民に対して議会の議決・運営についての説明責任を果たす。			期 待 される 効 果					
事 業 概 要	■議員研修会、視察研修の実施 462千円 議員の資質並びに政策形成及び立案能力の向上を図るため、議員研修の充実強化に努める。（議会基本条例第15条） ・議員研修会の開催 110千円 ・議会情報化委員会視察研修 157千円 ・議会活性化特別委員会視察研修 195千円 ■議会だよりの発行 1,045千円 市民に親しみやすく、わかりやすい議会だよりの発行に努める。 （議会基本条例第14条第1項） ・市民の声の掲載 ・議員の議案に対する賛否状況の公表 など内容の充実を図る。 ■議会報告会の開催 30千円 議員と市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を年2回開催する。 ■一般質問通告一覧表の新聞折込 326千円 ■会議録検索システム保守管理業務 409千円 ■議会インターネット動画（録画）配信 197千円			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
				＊本会議傍聴者数 H25:125人、H26:172人、H27:242人、H28:202人 ＊議会報告会参加者数 H25:187人、H26:164人、H27:159人、H28:155人					
				【先進性】					
担当部署	議会事務局 議事調査課 議事調査係			TEL	45-1639				

- 48 -

事業名	次世代人材育成事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略			ビジョン 基本施策	—	1,000				1,000	0
総合戦略 政 策	みやづを担う次代の人づくり					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						1,000	繰入 諸	人材育成基金繰入金			955
								創業スタートアップセミナーテキスト代			45
背 景 ・ 経 緯	H27.10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市独自の方針として「みやづを担う次代の人づくり」を設定 H28.8～:市内高校と連携した人材育成、創業セミナー等を実施										
目 的 ・ 目 標	観光産業の振興及び海・里・山の地域資源を活かした内発型産業の創出を具現化するため、自らしごとを生み出す人材の育成を行う。					期 待 さ れ る 効 果	地域資源を活用し自らしごとを生み出す新規起業家や第二創業者を輩出する。 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ・起業セミナー等受講者数 H28末見込:11人→H31目標20人(5年間で) ・高校生と連携した取組数 H28末見込:3件→H31目標3件(5年間で) ・地域おこし協力隊員数 H28末見込:延べ9人→H31目標延べ100人(5年間で)				
事 業 概 要	■起業家育成セミナーの実施等 850千円 市内における新たな起業を推進するため、起業家育成セミナー等を実施する。 ○創業スタートアップセミナー(京都大学経営管理大学院経営研究センター) 市内での起業・創業意欲の喚起、ビジネスアイデアの構築方法など起業家を育成するセミナーを実施する。 ※宮津商工会議所が行う創業セミナー等と連携実施 ○経済・地域活性化ワーキング 金融機関等と連携して経済的側面から地域活性化施策・事業を検討 ○提案型の地域おこし協力隊の募集・マッチング 市内の活性化や地域課題の解決に向けて、独自のアイデア等に基づき実践を行いながら起業を目指す地域おこし協力隊隊員を募集するとともに、受入先の関係団体等とのマッチングを行う。 ■市内高校との連携事業 150千円 市内の高校生が、本市において地域活性化に向けた活動や事業等を展開されている社会人の方から地域活性化や「しごと」への熱意等を学ぶ取組を実施					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
						年度策定				計 画 期 間	
						年度策定					
						年度策定					
						年度策定					
						【市民参加の状況】					
						【先進性】					
担当部署		企画部 産業経済部	企画政策課 産業振興課	企画調整係 産業推進係	TEL	45-1664 45-1663					

平成29年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名			まちづくり応援事業		新規	予 算 額		財 源 内 訳						
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
ビジョン 重点戦略			定住促進戦略		ビジョン 基本施策	—		73, 200					9, 900	63, 300
総合戦略 政 策			時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯			＊地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動が展開 ＊まちづくり補助金等：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援 ＊ふるさと宮津応援寄附：平成27年度からインターネットサイトでの受付、クレジットカード決済を導入し、寄附しやすい環境を整備							繰入		まちづくり基金繰入金		4, 400
										諸		コミュニティ助成金		5, 500
目 的 ・ 目 標			・市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実させるとともに、市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。 ・全国的なふるさと納税ブームや、インターネットサイト活用による利便性の向上を踏まえ、ふるさと宮津応援寄附年間1億2,000万円を目標とする。					期 待 される 効 果		・市民によるまちづくり活動、地域活動の拡大 ・地域コミュニティのより一層の充実 ・ふるさと宮津応援寄附金額の拡大、産品を通じての宮津市のPR				
事 業 概 要			■地域会議活動支援 1, 400千円 ・地域住民による地域課題解決のための会議体「地域会議」への活動支援 ＊14地域会議×100千円（会議運営費の支援） ■宮津市まちづくり補助金 3, 000千円 ・市民団体等によるまちづくり活動への支援（市民による審査会において内容審査） ＊補助率等：対象経費の1/2（上限1, 000千円） ＊対象事業：①本市の知名度の向上に資する事業 ②環境保全又は景観形成に資する事業 ③観光振興又は農村・都市交流に資する事業 ④その他地域の活性化に資する事業 ■宮津市コミュニティ助成金 5, 500千円 ・（一財）自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援する。 ■ふるさと宮津応援寄附の推進 63, 300千円 ・インターネットサイト等を通じての寄附のPR、受付と寄附者への返礼品の送付等（寄附金は寄附者の意向に沿った目的の基金へ積立て、各事業へ活用）					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
								年度策定				計 画 期 間		
								年度策定						
								年度策定						
								年度策定						
								【市民参加の状況】						
								・地域会議：地域課題解決のための会議体への参画等 ・まちづくり補助金、コミュニティ助成金：多くの市民活動の促進 ・ふるさと宮津応援寄附：宮津市のPR、寄附を依頼						
								【先進性】						
担当部署		企画部 企画部	企画政策課 観光交流課	企画調整係 定住交流係	TEL	45-1664 45-1607								